

令和6年度 根岸地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

ー総括表ー

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

地域での活動が活気を取り戻してきており、地域ケアプラザも地域の方と一緒に地域住民の交流や地域福祉保健計画地区別取組みを推進していきたいと考えている。

令和6年度は地域関係機関や福祉サービスに関わる事業所、その他の多様な団体や事業所とも協力し、地域住民の健康の増進や介護予防、権利擁護等の事業に取り組むと考えている。

地域福祉保健計画地区別取組みでは多様性に配慮した事業に取り組むことになっており、ハッピー根岸推進会議等で、根岸らしい取組みが出来るよう検討していきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	ー具体的な取組内容ー
☐	■	今年度は磯子健康フェスタ開催にも関連し、磯子地区の単位自治会に協力を求める目的にて定例会等に参加させて頂いた。フェスタ開催を通じて、磯子地区単位自治会との関係構築が図れた。また、磯子地区での出張講座も行った。 根岸駅前地区（特に東町）でのケアプラザ周知として、当該地区のトヨタ営業所を会場として、オータムフェスタを開催した。 昨年度と同様、警察・消防とも講座やイベント開催を通じての関係構築は継続出来ている。
☐	■	広報誌「こんち」に地域活動団体の取り組みを掲載した。取り組み内容や雰囲気が伝わりやすいように写真を大きくするなど工夫した。取材にあたり、見学するだけでなく一緒に活動に参加したことで困りごとを聞き取ることができ、それを言語化することで団体とも課題確認することができた。報告書にまとめ、ほかの職種とも共有した。
☐	■	食品配分会を7月に開催した。食品の寄付は記名者だけでも21名あり、配分会利用は24世帯、家族員数は73名であった。当日は家族みんなで受け取りに来る方も多い。11世帯は根岸地区以外の近隣の方だった。子育て世代の利用が多く、近隣CPも含め、どの関係機関とつながるかが今後の課題である。 2月にも配分会を開催予定。今回根岸小でのフードドライブの活動はなかったが、チラシ配布は例年通り受けてくださった。
■	☐	お茶ボランティア「茶ムリエ」のメンバーさんのご協力を頂いて、今年度から地域カフェ「みんなのカフェ リアン」を開催中。お茶ボランティアの他に工作指導のボランティアが加入する等、参加者とともに担い手グループも拡大傾向にある。
☐	■	R6. 8月、昨年同様にCMと民生委員の連絡会を開催。今年度のテーマは「発災時、民生委員・CMそれぞれが日々の活動の中で出来る事。連携する事で出来る事」として、グループワークで情報交換を行い、顔の見える関係作りや課題の抽出を行った。民生委員・CM連絡票については、新規の提出が少なく、時間経過とともに仕組み自体が活用されなくなっている現状がある。今一度、区全体として再周知の機会の検討が必要である。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

今年度もケアプラザに寄せられる相談に対して丁寧、積極的に対応することができた。また、地域住民の方や地域関係機関の方からの声や情報も受けて、地域ケア会議などを活用して課題解決に関係する方と一緒に取組んでいます。

子育て支援事業については参加者が少ない傾向にあり、子育て世代の状況や環境などをアセスメントし、目的を持った事業を行うことが必要になっていると感じています。

スマホ講座や「みんなのカフェ リアン」、「健康フェスタ@磯子小」などを通して、新しく事業に参加される方や、新たに事業に協力して下さる方ともつながることができ、次年度以降の根岸地域ケアプラザの事業の広がりに繋がりたいと考えています。

☐ 区からのコメント

ケアプラザの事業や各種イベントについて、近隣企業や地域の方々との連携を密に取っていただきながら実施していただきました。また、普段相談するのが難しい住民の方々へのアプローチ等、活動の範囲を広げての関係づくりに取り組んでいただきました。

地域活動には、参加者減や担い手不足等様々な課題が地域にあるかと思えます。より多くの人に参加し、活躍していくための住民主体の支援や活動の創出・継続・発展などに向けて働きかけを今後もよろしくお願いいたします。

子どもや高齢者が対象の事業については、不安に感じている住民の方も多いかと思えますので、実施に課題は多々あるかと存じますが、引き続き、実施内容や周知方法を工夫しながら取り組んでいただきたくようお願いいたします。

健康フェスタについては、介護予防に関する普及啓発だけではなく、地域の皆さまや関係団体との自治会町内会を超えた関係づくりにもつながっているかと思えます。ACP講座では、病院と在宅などの場面を分けて、分かりやすいプログラム内容となるよう工夫されて取り組んでいただきました。今年度も周辺の事業者や関係機関とも連携し、個別や地域の課題解決に向けた積極的な取組を進めていただきました。次年度も現在の協力体制を継続しながら、さらに連携を深化させていくことを期待しています。